

2016年8月9日

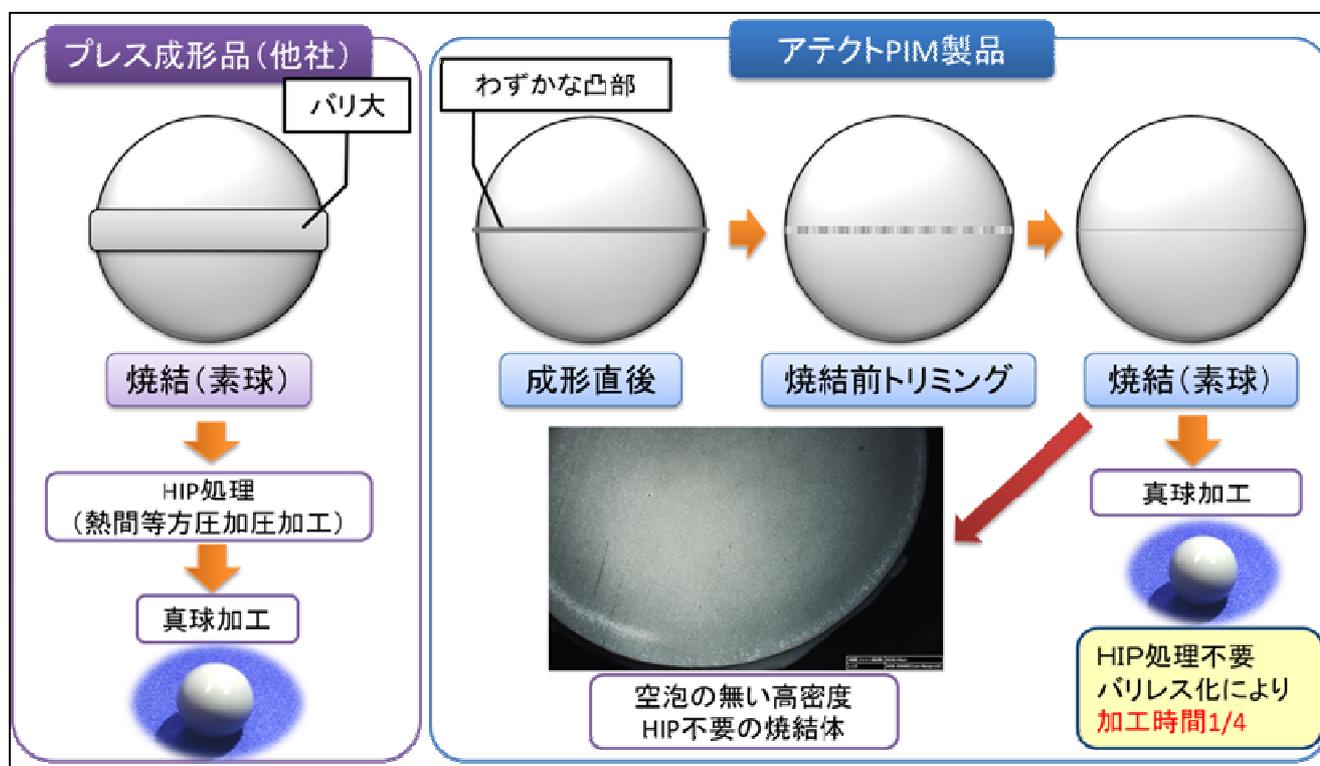
セラミックスボールベアリング進捗について

当社は、2016年5月9日のニュースリリースにてお知らせした通り、PIM工法にて

① バリがない⇒素球から真球への研磨時間の大幅短縮

② 空泡がない⇒HIP（熱間等方圧加圧加工）処理不要

これら従来工法では不可能であった2点を解決するべく、セラミックスボールベアリングの商品化を急ピッチで進めております。



当社では、バリを除去する新工法の開発を完了し、滋賀県東近江市の新工場に自社開発の月産100万個の能力を持つ、全自動インラインシステム1号機を導入し、2017年3月の立ち上げを目指します。

また、新たに国内1社、海外1社と基本開発契約を締結し、計4社の大手ベアリングメーカー様に対し、業界評価基準となる3/8インチの窒化ケイ素（セラミックスボールベアリングの主流素材）の素球を提出し、最長で半年間を要するセラミックスボールベアリングに必要な各種性能試験を実施致します。

相次ぐ、ベアリングメーカー様からの開発契約申し入れは、従来工法では限界となっていた加工時間の短縮やHIP工程を必要とすることで発生する仕入れコストなど、トータルコスト低減に大きな期待を頂いてのことと考えております。

以上